イギリス研究

担当者: 久木 尚志

1. 主な内容

イギリス(連合王国)、アイルランドあるいはその他の旧植民地の政治・社会・文化などを研究します。資料の関係で英語圏が望ましいですが、分野によっては上記以外の地域・領域も可能です。研究テーマに関する問い合わせには個別に対応します。

2. スケジュール

3年次 1学期: 文献の輪読。最初のテキストは教科書です。その後、イギリスに関する図書の輪読、グループワークなどを予定しています。

2学期: 最初に各自の予定する研究テーマの紹介をします。続いて卒論執筆に向けて順次報告をしてもらいます。

4年次 1学期: 各自の研究テーマに即した報告をしながら、卒論の準備を進めます。

2学期: 最終報告を行ったうえで、卒論を完成させます。

＊ スケジュールは大まかな予定であり、状況次第で変更もあります。

＊ 見学を希望する人は、レジュメ準備の関係で、なるべく前々日までにメールで連絡してください。教室は3年(木3限)＝D-603、4年(木5限)＝B-206です。

3. 研究テーマ

これまでの受講生が取り組んだテーマは、イギリス以外も含め幅広い内容になっています。旧植民地や欧州大陸をはじめ、イギリスがメインでない領域を選ぶ学生もいます。現在の3･4年生は、教育、ジェンダー、スポーツ、移民、植民地支配、観光、音楽、格差と貧困、食文化(紅茶など)、北アイルランド紛争、EU離脱、映画、犯罪(フィクションを含む)、地域振興、監視社会など(下線はこれまでも多かったもの)、各自でテーマを決め、その研究を通じて問いを見出し、考察を進めています。

テーマは柔らかいものから硬いものまでさまざまですが、柔らかく見えるものが却って調べにくいこともあります。いずれの場合も、テーマに即して研究課題を発見し、それを正当な手続きに則って自分なりに考え、その成果を他の参加者にわかりやすく伝えてゆく作業が必要です。また、的確な質疑応答ができることも重要です。

4. 注意事項

・無断欠席は厳禁です。やむをえない欠席の場合は連絡してください。

・その他、細かいことは授業が始まってから指示します。

・2年間は長いようで短いので、計画的な行動が不可欠です。